

潜む危険

8月15日に起こった福知山花火大会での爆発事故、死者3名(8月31日現在)を含む多くの犠牲者を出しました。

亡くなられた方々のご冥福と、負傷されている方々の一刻も早い回復をお祈ります。

さて、今回の爆発事故、事故後テレビや新聞などで連日報道されており、その原因について火災調査が進められています。

花火大会や夏祭り、これから予定される地域での秋祭りなど、たくさんの方が参加する行事において火災が発生すると、今回のように被害が甚大になるおそれがあります。

特に、火気を使用する屋台などでは防火安全対策が極めて重要であり、中でもガソリンやプロパンガスなどの危険物の貯蔵や取り扱いについては細心の注意が必要です。

これまでもキャンプ中にコンロの携帯ボンベが破裂したり、不注意によりガソリンや灯油に引火して火災になったりなど、各地で事故が後を絶ちません。

最近では車内で冷却スプレーを使用した後、タバコに火をつけようとして爆発したという事故も起きています。

どこの家庭でもガソリンに限らず危険物があります。可燃性のものなら殺虫剤もそうですし、取り扱いを間違えれば有害な物質を発生させるものもあります。

「いつも使っているから大丈夫」では、今回の事故の反省はありません。正しい使用方法や取り扱いを知ることを今一度やってみてください。

思わぬ出来事でも後で思い返せば、そうだったのか、こうしておけば良かった、と気づくことがあり、その時に危険を回避できたことって生活の中で幾度となくあると思います。

これからも地域でのイベントなどに限らず、家庭でも気をつけて、火災や事故につながらないように心がけましょう。

さらに、決して他人事ではなく、自分に降りかかる災難にどう向き合うか、日頃から意識し、冷静に行動できるようにしておくことも大切です。

どこにでも「危険」は潜んでいます。でも、注意していれば危険を「安全」に変えることもできるのです。

(分団長 大槻)

本番さながらに

消防福知山市支部の主催で、実践消防訓練が市防災センターで実施されました。

正に実践に即した形で消火訓練が行われ、三和ブロックからは川合分団以下3分団から各1小隊が出動し、中継など連携しながら消火活動を行いました。

実際に建物や山林などから火災が発生すれば、三和ブロックが一致団結し消火活動にあたっています。が、こうした訓練の積み重ねがあつてこそ実火災に対応できるものと、改めて実感しました。



今回は市全体の訓練でしたが、三和ブロック独自でも訓練を行っていききたいと思いました。

(副分団長 西山)

川合小学校の緊急時訓練

川合小学校では例年8月のPTA美化作業の後、緊急時の児童引渡し訓練と初期消火訓練を実施されています。



川合分団も学校からの要請に応え、水消火器による初期消火訓練の指導をさせていただきました。川合地区ではこれまでも、各地域や分団主催で初期消火訓練や放水訓練など実施しているところですが、訓練は何度でも繰り返し行うことが重要です。小学校でも訓練を実施していただくことは大変ありがたいことです。

(本部長 小原)

何かに役立てない

川合分団第2部は、地域の方々からご協力

いただいたり、団員が持ち寄った空き缶や鉄くずなどを売ったその収益全部と、ペットボトルのキャップを川合小学校に寄付しました。

ご承知のとおり川合小学校は、児童数が減少し複々式授業が行われています。こうした現状と何よりも児童のことを一番に考え、川合小学校の子どもたちの教育を考えての議論が現在されているところでは、今が大切なときです。い、いつもお世話になっている川合小学校や、将来の消防団員?のために役立ててほしいです。



(第2部部长 高岡)

ガソリンの豆知識

ガソリンは

- ①引火点が低い。
 - ②可燃性ガスが広範囲に広がる。
 - ③火気以外にも静電気でも簡単に引火する。
- などの特性があります。

【注意することとは】

- ①消防法令に適合した金属製の容器に入れる。
- ②火気から離れた直射日光の当たらない通気性の良い床面に保管する。
- ③転倒や落下しないような場所に保管する。
- ④容器内の圧力を下げる減圧ネジを緩めてから蓋を開ける。
- ⑤閉ざされた場所では蓋を開けた使用したりしない。
- ⑥他の火気から十分離れた場所で使用する。
- ⑦発電機などの稼働中は断じて注油しない。

などがあります。皆さん、取り扱いには十分注意しましょう。

なお、屋台等で火気を使用する場合の注意事項についてチラシをつけていますが、家庭でも参考にしてください。

(分団本部)

— 注意喚起 —

屋台等における火気使用について

1 ガソリン等の貯蔵・取扱いについて

(1) ガソリン等の特性

燃料となるガソリン等は、引火点が低く可燃性ガスが床面に沿って広範囲に拡大する特性があり、漏えいすると、離れた位置にある火気、高温部、静電気などにより容易に火災に至る危険性があるため、ガソリン等を取り扱っている周辺で火気や火花を発生する機械器具等を絶対に使用しないでください。

(2) 注意事項

【機械器具（発電機等）・金属製容器】

ア 使用・保管場所は、火気や高温部から離れた日陰の通気性の良い床面としてください。

イ 金属製容器は、消防法令に適合（規格品）したものを使用してください。

ウ 燃料補給の際は、漏れ・あふれが生じないように注意をしてください。

エ エンジン運転中の燃料補給は、絶対にしないでください。

オ 夏季においては、ガソリン等の温度が上がり、ガソリン等の蒸気圧が高くなる可能性があり、容器の取扱説明書等によって吹きこぼしが起こらないように細心の注意を払うようにしてください。

【火気使用場所】

ア みだりに火気を使用しないでください。

イ 常に整理・清掃を行ない、みだりに空き箱その他不必要なものを置かないでください。

ウ 転倒、落下、衝撃など粗暴な行為をしないでください。また、地震等による転倒、落下にならないよう必要な措置を講じてください。

エ 消火器など必要な消火準備をしてください。

2 液化石油ガス（LP ガス）の使用について

(1) 漏えい、転倒等しないよう必要な措置を講じてください。

(2) 他の火気使用との距離に十分配慮し使用してください。

3 避難経路・通路について

有事の際の、避難経路・通路を十分確保するとともに、誘導についても、警備員を配置する等の措置を行ってください。

【お問合せ先】

福知山消防署予防課 0773-23-5119